

- 問1 第8代将軍・徳川吉宗が行った「享保の改革」において、幕府の財政を立て直すために採用された、年貢の徴収に関する方針として最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った | 2. 年貢をすべて金納に切り替え、米の価格変動が財政に与える影響を排除した | 3. 飢饉対策を優先するため、豊作の年でも年貢の割合を低く抑えるよう命じた | 4. 農民の負担を軽減するため、商人の利益に課税する仕組みを優先した |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問2 江戸時代の近畿地方において、綿花の生産量が飛躍的に向上した背景にある経済的な仕組みとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕府が全国の農民に対し、イワシを主原料とした肥料を無償で配給したこと。 | 2. 鎖国政策により海外から安価な綿花が流入しなくなったため、肥料を使わずに増産したこと。 | 3. 遠隔地の漁村で加工された干鰯などの金肥を、都市の商人を通じて購入し投入したこと。 | 4. 全ての農家で二毛作を禁止し、綿花の栽培だけに土地の栄養を集中させたこと。 |
|--|---|---|---|
- 問3 江戸時代、朝鮮から将軍の代替わりなどを祝うために派遣された使節を「朝鮮通信使」といいます。漢城（ソウル）を出発して江戸に至るまでのこの使節団の移動経路について、地理的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 釜山から対馬を経て下関に至り、そこから瀬戸内海を船で進んで大坂・京都を経由し、東海道などの五街道を通して江戸へ向かった。 | 2. 釜山から対馬を経由せずに直接長崎へ入り、そこから九州を横断して関門海峡を渡り、太平洋側の黒潮を利用して船で江戸へ向かった。 | 3. 琉球王国を経由して薩摩に入り、長崎の出島で幕府の許可を得た後、九州から山陽道を通り、中山道を経由して江戸へ向かった。 | 4. 朝鮮半島の北部から日本海を横断して新潟に上陸し、北陸道を通して江戸へ向かうとともに、菱垣廻船などの物資運搬船と並走した。 |
|---|--|---|---|
- 問4 1825年に江戸幕府が「異国船打払令」を出した背景とその内容に関する説明として、当時の国際情勢と幕府の対応をふまえたものを選びなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 捕鯨や通商を求めて接近する外国船が増えたため、長崎に来航する清・オランダ以外の船を発見次第、砲撃して撃退するよう命じた。 | 2. イギリスがアヘン戦争で清を破ったことを知り、外国との武力衝突を避けるために、燃料や食糧を与えて速やかに帰帆させるよう命じた。 | 3. ペリーが率いる艦隊が来航したことを受け、これまでの鎖国政策をさらに強化し、一切の外国船の入国を禁止するために発令した。 | 4. ロシアの南下政策に対抗するため、蝦夷地を幕府の直轄地とし、樺太や千島列島に近づくすべての船を拿捕するよう命じた。 |
|---|---|--|---|
- 問5 江戸時代の幕府政治の変遷について述べた記述において、5代将軍徳川綱吉が、それまでの武力による威圧的な統治から、儒学（朱子学）などの学問や礼節を重んじることで社会の秩序を保とうとした統治方針を指す言葉として適切なものを選びなさい。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 文治政治 | 2. 執権政治 | 3. 武断政治 | 4. 親政 |
|---------|---------|---------|-------|
- 問6 17世紀前半、江戸幕府がキリスト教の禁止と貿易の統制を主な目的として、外国との交流を段階的に制限した一連の対外政策を何と呼びますか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|----------|---------|
| 1. 身分統制 | 2. 鎖国 | 3. 武家諸法度 | 4. 参勤交代 |
|---------|-------|----------|---------|
- 問7 日本の伝統文化が成立・大成した時期と、それに関わった人物や文化の組み合わせについて、時代順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代） | 2. 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代） | 3. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代） | 4. 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代） |
|---|---|---|---|
- 問8 江戸時代の商業政策において、田沼意次がとった政策と、天保の改革における水野忠邦の政策の対比として正しい記述はどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 田沼意次は鎖国を強化するために株仲間を制限したが、水野忠邦は開国に備えて株仲間を保護した。 | 2. 田沼意次は物価高騰を抑えるために株仲間を解散したが、水野忠邦は財政再建のために株仲間を復活させた。 | 3. 田沼意次は株仲間を奨励して税を徴収したが、水野忠邦は物価抑制のために株仲間を解散させた。 | 4. 田沼意次は農業を重視して株仲間を禁止したが、水野忠邦は商業を重視して株仲間に独占権を与えた。 |
|--|--|---|---|
- 問9 江戸時代の大坂は「天下の台所」と称され、日本の経済を支える重要な役割を果たしました。この当時の大坂の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 19世紀前半の化政文化の中心地として、浮世絵や歌舞伎などの新しい町人文化が最も盛んに発信された。 | 2. 長崎の出島とともに、幕府が唯一認めた海外貿易の窓口として、異国の文化が流入する拠点となった。 | 3. 日米和親条約の締結に伴い、海外に向けた開港場の一つに選ばれ、外国の商館が立ち並んだ。 | 4. 全国の物資が蔵屋敷に集まり、そこから江戸などの大消費地へ海上交通などを用いて運ばれた。 |
|---|---|---|--|
- 問10 江戸時代に北前船が北海道（当時は蝦夷地）から本州へ運んだ物資のうち、当時の日本の農業生産力を高める上で重要な役割を果たしたものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 肥料となるニシンの骨粕（しめかす） | 2. 年貢として納められる米 | 3. 鉄砲の原料となる鉄鉱石 | 4. 陶磁器の原料となる陶土 |
|----------------------|----------------|----------------|----------------|
- 問11 老中・水野忠邦が実施した天保の改革の内容として、対外的な「薪水給与令」の布告とあわせて行われた国内政策として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 大名の負担を軽減するために、参勤交代を3年に1回へと大幅に緩和した | 2. 商業を活性化させて税収を増やすために、株仲間の結成を積極的に奨励した | 3. 物価を下げるために、問屋商人の組織である株仲間の解散を命じた | 4. 極端な動物愛護を強いることで社会の風紀を正そうと、生類憐みの令を出した |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
- 問12 城下町において、城の周囲を堀で囲んだり、武士の住む場所（武家地）と町人の住む場所（町人地）を厳格に区分けたりした背景にある目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 城下町全体の衛生環境を保つために、生活用水を確保する堀の近くには武士以外の居住を禁止するため | 2. 有事の際に敵の侵入を遅らせるとともに、身分制度に基づいた統治を円滑に行い、都市の防衛力を高めるため | 3. 参勤交代で江戸へ向かう際、大名の行列が町人地の中心を通ることで、幕府の権威を農民に広く示すため | 4. 町人地を城から遠ざけることで、商工業者による一揆が起きた際に城への被害を最小限に抑えるため |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った	吉宗の時代は、江戸時代を通じて幕府の年貢収入が非常に高い水準にありました。吉宗は「米将軍」と呼ばれるほど米による財政基盤を重視し、それまでの豊凶に応じて年貢率を決める「検見法」から、一定期間の平均収穫量をもとに年貢率を固定する「定免法」へ転換するなどして、確実な年貢収入を確保し、財政の再建を目指しました。
問2	答え 3 遠隔地の漁村で加工された干鰯などの金肥を、都市の商人を通じて購入し投入したこと。	商品作物の栽培は高い利益を生む一方、土地の養分を激しく消耗するため、大量の肥料を必要としました。この需要に応えたのが、干鰯に代表される「金肥」の流通です。漁村での加工、都市商人による流通、そして農村での購入という一連の経済サイクルが確立したことで、近畿地方などの先進地域では大規模な商品作物の生産が可能となりました。
問3	答え 1 釜山から対馬を経て下関に至り、そこから瀬戸内海を船で進んで大坂・京都を経由し、東海道などの五街道を通して江戸へ向かった。	朝鮮通信使は、対朝鮮外交の実務を担っていた対馬藩（宗氏）の案内により、釜山から対馬、下関を経て瀬戸内海を通り、大坂に上陸しました。その後、京都を経て幕府が整備した五街道の一つである東海道などを通り、将軍のいる江戸へと向かいました。この使節は将軍の代替わりや世継ぎの誕生を祝う目的で、江戸時代を通じて計12回派遣されました。
問4	答え 1 捕鯨や通商を求めて接近する外国船が増えたため、長崎に来航する清・オランダ以外の船を発見次第、砲撃して撃退するよう命じた。	19世紀初頭、北太平洋での捕鯨活動や東アジアへの進出を狙う欧米諸国の船が日本近海に現れるようになりました。幕府は伝統的な「鎖国」の法を守るため、1825年にこの強硬な法令を出しました。しかし、のちにイギリスがアヘン戦争で清を破ったという情報が伝わると、強硬策による戦争の危機を避けるため、1842年には方針を転換して燃料や水を与える「薪水給与令」を出すことになります。
問5	答え 1 文治政治	3代将軍徳川家光までの時代は、武力によって大名を厳しく統制する「武断政治」が行われていました。しかし、社会が安定するにつれて、5代将軍徳川綱吉は儒学を奨励し、武力ではなく道徳や学問によって世の中を治める「文治政治」への転換を進めました。これにより、武家諸法度の内容も道徳的な記述へと改められました。
問6	答え 2 鎖国	幕府はキリスト教の広がりや封建的な支配体制を揺るがすことを恐れ、また貿易による利益を独占するために、外国との窓口を長崎などの特定の場所に限定しました。1641年にオランダ商館が長崎の出島に移されたことで、この体制が完成したとされています。
問7	答え 1 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）	室町時代に足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥が能楽を大成させ、その後の安土桃山時代には千利休が茶の湯（わび茶）を完成させました。さらに江戸時代になると、近松門左衛門が脚本を手がけたことで、歌舞伎や人形浄瑠璃が庶民の娯楽として大きく発展しました。この時代の流れを把握することが重要です。
問8	答え 3 田沼意次は株仲間を奨励して税を徴収したが、水野忠邦は物価抑制のために株仲間を解散させた。	田沼意次の時代には、商業の発展を利用して幕府の財政を立て直そうと、積極的に株仲間の結成を認め、そこから税（運上・冥加）を徴収しました。これに対し、天保の改革を行った水野忠邦は、物価上昇の原因が株仲間の独占にあると批判し、解散を命じるという全く逆の政策をとりました。この違いは入試でも非常によく問われるポイントです。
問9	答え 4 全国の物資が蔵屋敷に集まり、そこから江戸などの大消費地へ海上交通などを用いて運ばれた。	大坂は諸藩の蔵屋敷が立ち並ぶ物流の要所であり、全国から集まった米や特産品は商人を通じて江戸などの大都市へ供給されました。出島は長崎、化政文化は主に江戸を中心とした文化であり、日米和親条約による開港は大坂の「天下の台所」としての全盛期より後の出来事です。
問10	答え 1 肥料となるニシンのメ粕（しめかす）	北前船は北海道から昆布やニシンを運びました。特にニシンを加工した「メ粕」は、綿花などの商品作物を栽培するための有力な肥料として西日本を中心に広く普及し、当時の農業の発展を支える重要な物資となりました。
問11	答え 3 物価を下げるために、問屋商人の組織である株仲間の解散を命じた	天保の改革では、都市部で上昇し続ける物価を抑制することが大きな課題でした。水野忠邦は、問屋商人の独占組織である株仲間が流通を支配し、価格を吊り上げていると考え、1841年にその解散を命じました。しかし、流通の混乱を招いたため、この政策は十分な成果を上げられませんでした。なお、参勤交代の緩和は幕末の文久の改革、生類憐みの令は徳川綱吉によるものです。
問12	答え 2 有事の際に敵の侵入を遅らせるとともに、身分制度に基づいた統治を円滑に行い、都市の防衛力を高めるため	城下町の構造には、軍事と政治の双方が深く関わっています。堀は物理的に敵の進軍を妨げる役割を果たし、身分ごとに居住地を分けることは、いざという時の命令系統の維持や、階級による役割分担を明確にすることを目的としていました。このような都市計画は、大名による領国支配を安定させるための基盤となりました。